

東海圏減災研究コンソーシアム

東海圏減災研究コンソーシアムは、

日本の中心に位置し、日本最大の産業拠点であるとともに、南海トラフ巨大地震等の危険が指摘される東海圏において、有効な防災・減災戦略の構築は国家的な重要かつ急務の課題であることに鑑み、東海圏の6大学（岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学）が互いに連携して自然災害を軽減するための研究を強力に推進し、もって安全・安心な地域社会の実現を目指すための組織です。

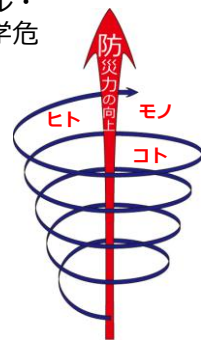
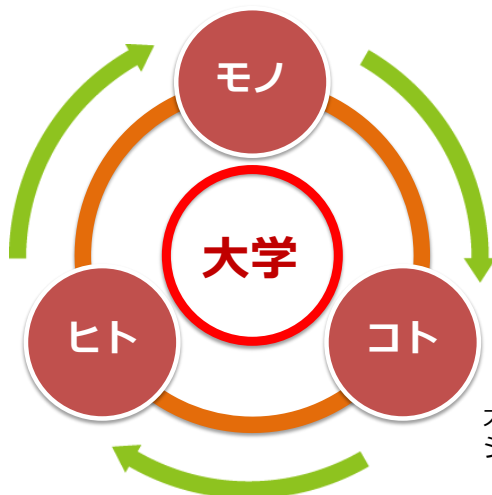


大学における防災・減災活動の3要素

センシング・モニタリング技術、耐震・免震工法、地域防災力評価ツール・ソフト、各種教材、災害情報伝送ツール、災害・防災情報システム、化学危険物回収技術、エネルギーマネジメント手法など

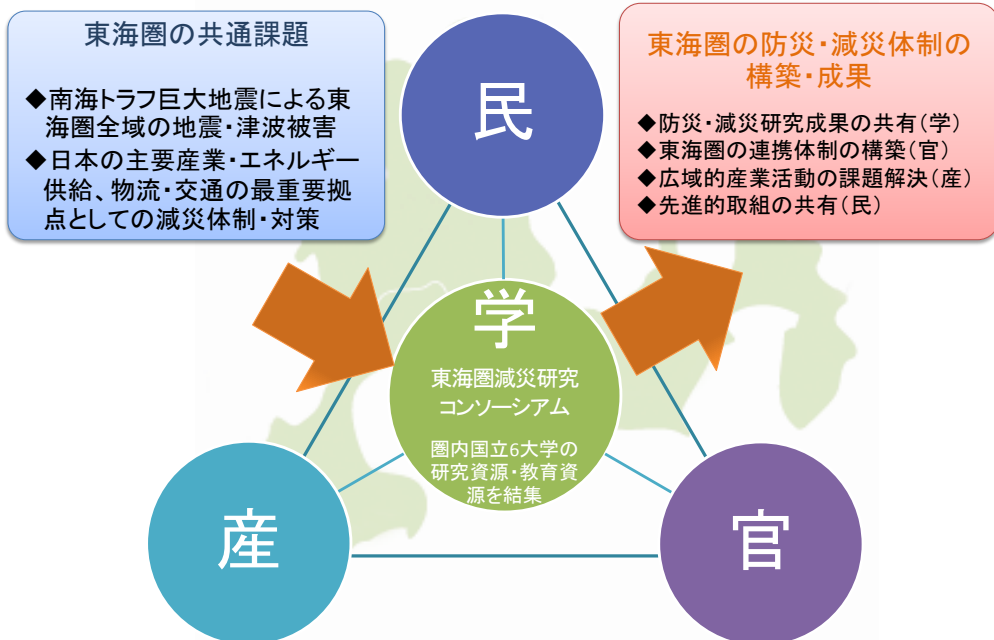
ヒト・コト・モノを
コーディネートし、
有機的かつ実効性のある形で
展開・社会還元する大学力

防災・減災の専門教育の深化
社会人への専門教育・生涯学習
自治体職員への防災研修
初等教育・中等教育への貢献
市民向け講座の開催
人材ネットワークの構築など



組織・拠点の構築
基盤・共有データの整備
人材養成の仕組みづくり
産学官民連携の仕組みづくり
大学内での分野間連携体制の構築
シンポジウムによる情報発信など

コンソーシアムの取り組み

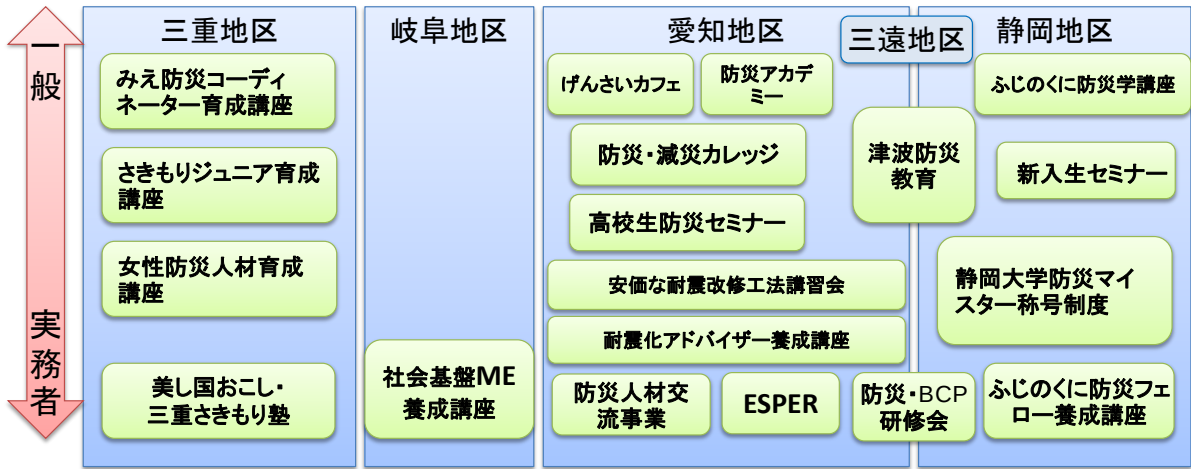


学を中心とした東海圏全域の連携体制の構築

参画6大学の連携実績例

	6大学 研究センター		減災協議会			4県3市		国立大学協会	
	公開講座	防災教育	人材育成	技術開発	地域連携	人材育成	地域連携	地域連携	市民啓発
参画6大学	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行政	○	○	○		○	○	○	○	
NPO	○	○	○		○	○	○		
民間企業	○	○		○					

参画6大学の防災人材育成事業例



参画6大学の減災研究テーマ

南海トラフ巨大地震等に対するハザード・リスク評価

- 地震・津波による連動・複合ハザードの高精度予測手法開発
- 地域の抱える各種自然災害リスクの計測と情報の集約、被災程度の予測・分類
- 堆積物調査・津波シミュレーションなどによる津波防災力向上のための基礎的研究
- 富士山・伊豆地方を中心とした火山学・火山防災学的研究

建築・社会基盤施設の減災ハード技術

- 建築物の高機能＋低コスト減災化技術
- 橋梁の終局挙動に着目した総合耐震性能評価技術
- 巨大地震時のインフラ多重防御・管理技術と合理的改修技術
- 広域低平地における液状化・津波複合災害対策技術

先進・融合型減災技術とエリアリスクマネジメント

- 次世代モニタリング手法の開発・高度化
- 災害対策技術(減災・復旧)の実装
- 都市エリア避難予測・対策技術の確立
- 各種の新規開発技術の整理・統合と設計・運用手法の確立

データベースの構築・システム化

- 防災・減災活動に資する諸情報のデータバンクによる情報基盤整備と利活用のためのシステム構築に関する研究

防災・減災人材育成

- 地域協働型インフラの管理、高度減災化技術の適切な運用を実現するためのひと(専門家)づくりの研究
- 一般市民に向けた戦略的減災促進のための啓発ツール開発
- 学部学生・大学院生への防災・減災教育のしくみづくりと効果的な推進のための研究

防災・減災人材ネット構築

- 防災・減災を担う人的資源の拡大とネットワーク定着のしくみづくりに関する研究
- 現役の防災実務者を対象とした中核的防災人材育成プログラムおよび育成人材のリカレント教育プログラム構築に関する研究

総合防災戦略の立案

- 災害に対する認識や災害時の避難行動などに関する実証的調査を通じた地域 防災力向上に関わる災害情報学的研究
- 災害に強いまちづくり・防災行動誘発を含む総合的な減災プラン策定に向けた研究